

飯南町の未来も担う 出会い創出事業が進んでいます。

飯南町は今年から出会い創出事業に取り組んでいます。それに先駆けて誕生したカッパルの一つ、5月にご結婚された前川国香さん、由紀さんに伺いました。



前川由紀さん

これまでお二人の接点はあったのでしょうか

高校の同級生ですが、クラスが違っていたので、話したこともなかったですし、職場が違うので会う機会はありませんでした。

出会いのきっかけは

お互いの職場の上司が紹介してくれました。意外と身近なところに縁があるもののだとは思っています。

家庭を持つってみてどうですか

「国香さん」親と同居してくれて、家族がひとり増え、母も話し相手ができるすごく楽しそうです。

「由紀さん」独身のときは一人が楽だと思っていました。確かに家庭を持つと責任も生まれるので、大変と感じることもありますが、家族を作る幸せの方が大きいです。

新しい命を授かったとき、どう感じましたか

「由紀さん」単純に嬉しかったです。不安もありますが、親や友人に教えてもらいながら楽しく子育てできればと思っています。

「国香さん」すごく嬉しくて、将来が楽しみです。とにかく健康に育ってほしい。

町内の独身男女が交流する場があればどうでしょうか

すぐ結婚に結びつくかどうか

かわかりませんが、多くの方と交流するのは本人の視野も活動範囲も広がるので良いことだと思います。

出会いがほしくても出会いがない人もたくさんあると思います。紹介してきっかけを作ってくれる人が必要だと思いました。



前川国香さん

後押しをしてくれる人が大切と言われますが

私たちの場合は、双方の親が協力して、リードしてくれました。おかげで不安を感じないで結婚に突き進むことができました。本当に感謝しています。

ありがとうございます。国香さん、由紀さんお幸せに、そして、お腹の赤ちゃんが健やかに成長されますようお願いしています。

今月の表紙写真



大きな口を開いておむすびをバクリ！ 地元で作った飯南米は格別なのに加え、お母さん手作りの弁当なので特に美味しいようです。もっと食育の導入をと中央では進めていますが、外食できるところは極めて少なく、基本的には地産地消で家庭料理が中心の私たちの地域です。自信をもって子どもたちにも「ハイ、どうぞ」。

保育所での土曜日ランチ。新米おいしいね。

編集後記

本定例会の会期中、安全保障関連2法の是非をめぐる、国会やメディアで論戦が交わされ、主要都市では大規模なデモが行われました。

山陰中央新報の紙面には毎日、関連記事が掲載されましたが、両論が併記され、偏った方向へ誘導する意図が見られませんでした。

さて、議員は1つの事柄の是非を判断するとき、あらゆる可能性を考え、地域や世界を俯瞰して、国民や地域住民の生命財産を守るため、最良の方法を見出さなければなりません。

ひとつの考えにとらわれず、虚心にして町民の皆さんの声を聴き、先進地の必死の努力を見聞きし、この町にとって最良は何か見出ししていきたいと考えています。

これからも、皆さんのご意見をお寄せください。

議会広報編集委員会 門 眞一郎